

お客さま各位

【全国で不正送金被害急増中】

金融機関を装うメール・ショートメール(SMS)にご注意下さい

金融機関を装ったメールやショートメッセージ(以下 SMS)を送信し、インターネットバンキングの偽サイトに ID・パスワード・口座番号等を不正に入力させる詐欺被害が、全国的に急増しております。(詳しくは別紙1をご参照)

インターネットバンキングをご利用のお客様におかれましては、以下の内容をご参照いただき、詐欺被害にあうことがないようにご注意ください。

[ご注意いただきたい事項]

1. 当行では、お客さま情報・お取引目的等の定期的なご確認やお取引に際して、メールや SMS に URL を記載の上、ご回答画面へ直接ログインを促すことや、SNS 等のダイレクトメッセージから認証を促すことはございません。
2. ID・パスワード・口座番号等は、厳重に管理を行い、決して第三者に教えないでください。
3. 不審なメール・ショートメッセージ(SMS)のリンク先にアクセスし ID・パスワード・口座番号等の入力には絶対に行わないでください。
4. 不審なメール・ショートメッセージ(SMS)を受け取り、万が一リンク先にアクセスし ID・パスワード・口座番号等を入力してしまった場合には、直ちに下記または、お取引店までご連絡ください。

じもとグループは
SDGsに賛同しています



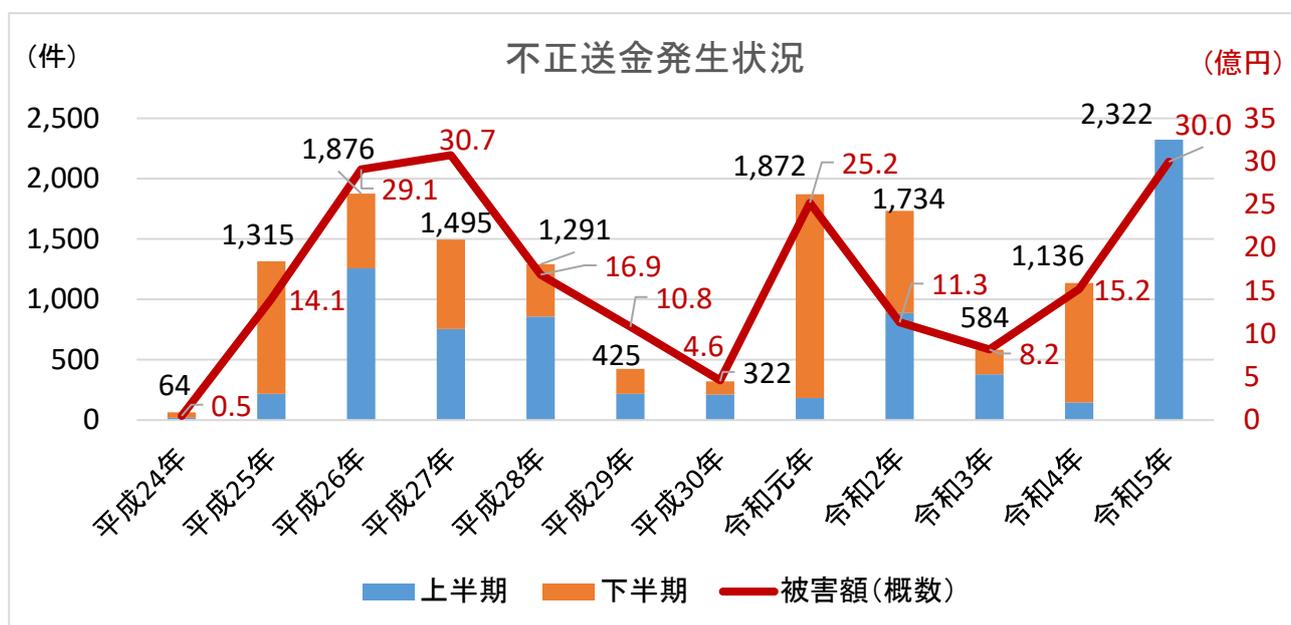
本件に関するお問合せ先
きらやかFB・IBセンター
電話：0120-22-0508

令和 5 年 8 月 8 日
警 察 庁
金 融 庁

フィッシングによるものとみられるインターネットバンキングに係る不正送金被害の急増について（注意喚起）

令和 5 年 4 月にインターネットバンキングに係る不正送金事犯による被害急増に関する注意喚起を実施するとともに、被害金融機関と連携し対策を講じているものの、その後も被害は拡大し続け、8 月 4 日時点において、令和 5 年上半期における被害件数は、過去最多の 2,322 件、被害額も約 30.0 億円となっています。

（平成 24 年から令和 4 年の数値は確定値、令和 5 年上半期の数値は、同年 8 月 4 日時点における暫定値である。）



被害の多くはフィッシングによるものとみられます。具体的には、金融機関（銀行）を装ったフィッシングサイト（偽サイト）へ誘導する電子メールが多数確認されています。このような電子メールやSMSに記載されたリンクからアクセスした偽サイトにID及びワンタイムパスワード・乱数表等のパスワードを入力しないよう御注意ください。

また、一般社団法人全国銀行協会及び一般財団法人日本サイバー犯罪対策センター（JC3）の各ウェブサイトにおいても注意喚起を実施していますので御参照ください。

【掲載場所】

- 一般社団法人全国銀行協会ウェブサイト
<https://www.zenginkyo.or.jp/topic/>
- 一般財団法人日本サイバー犯罪対策センターウェブサイト
<https://www.jc3.or.jp/threats/topics/article-507.html>

不正送金被害急増中!!

電子メール等のリンクから
アクセスしたサイトに
IDパスワード・個人情報
を入力しないで下さい

不安にさせるメールに注意!!

個人情報の再確認・・・
不正アクセス通知・・・
口座を解約・・・

金融機関の「公式HP」「公式アプリ」
から正しい情報を確認してください



警察庁
National Police Agency



一般社団法人
全国銀行協会



日本サイバー犯罪対策センター